

大学研究推進戦略の企画立案

講師 東京医科歯科大学産学連携研究センター長／教授
教授 飯田香緒里



講義の概要

本講義は、大学等研究機関において研究活動を推進するための戦略の意義や位置づけについて理解の醸成を図る。具体的には、大学のビジョン（今後ありたい姿）を実現するために研究戦略（上位戦略；what to do）があり、研究戦略を実現するためにURAによる具体的な実行計画である研究推進戦略（下位戦略＝戦術；how to do）の企画立案をするという基本構造の把握に導く。そのために、ケーススタディとして、具体的な事例を用いて研究推進戦略のシナリオの作成に向けたグループ討議による大学研究推進戦略の企画立案を実施することを通じて、研究推進戦略策定に関する理解を深める。

最後には、東京医科歯科大学において実施している研究力向上の取り組みの解説として、体制、制度改革、仕組み等を紹介することで、具体的な業務イメージ作りに貢献する。

スキル標準における関連項目

研究戦略策定、研究力の調査分析、研究プロジェクト企画立案支援、研究プロジェクト企画のための内部折衝活動、研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整（プレアワード）

講義の留意点

研究戦略は、あくまでもビジョン（大学が今後在りたい大学の姿）があり、そのビジョンを実現するために中長期に何をすべきか、という戦略があり、それを実践するための実行計画である戦術をもつ、という基本構造であることに留意する。

事例検討する上では、大学の特徴や課題の把握につとめ、その特徴を活かした研究戦略策定を目指す。具体的な検討項目としては、ビジョン実現に向けたスケジュール感、執行部の方針と目標を具現化するための

研究推進体制及び制度設計、URAとして求められる業務内容及びそのエフォート等が挙げられる。研究推進戦略としては、単にデータとして与えられている数値を上げることが目的ではないことを常に意識し、世界大学ランキング向上、産学連携の質・量強化、地域連携、知財戦略、国際連携活性化等を指標の下、具体的な実行計画をたてることを留意する必要がある。

試行的研修講師としての所感

本研修における事例検討では、4つのタイプの大学を事例として取り上げ、受講者が所属する機関と近いタイプについて検討して頂く形をとった。このことは、長所として、実際所属する大学が実際取組んでいる戦略について、受講者間での共有が進んだとともに、現実直面に直面している課題解決に向けた検討が深められたと考えられる。しかし一方で、自大学を意識するために、客観的な事例検証がし難くなり、画期的な戦略策定につながり難い状況になったとも見受けられた。研究戦略策定にかかる考え方、方策を習得する、というケーススタディの狙いを全うするとともに、自らの業務推進を実現し得るスタイルでの研修が実現を目指すことが有用と考える。

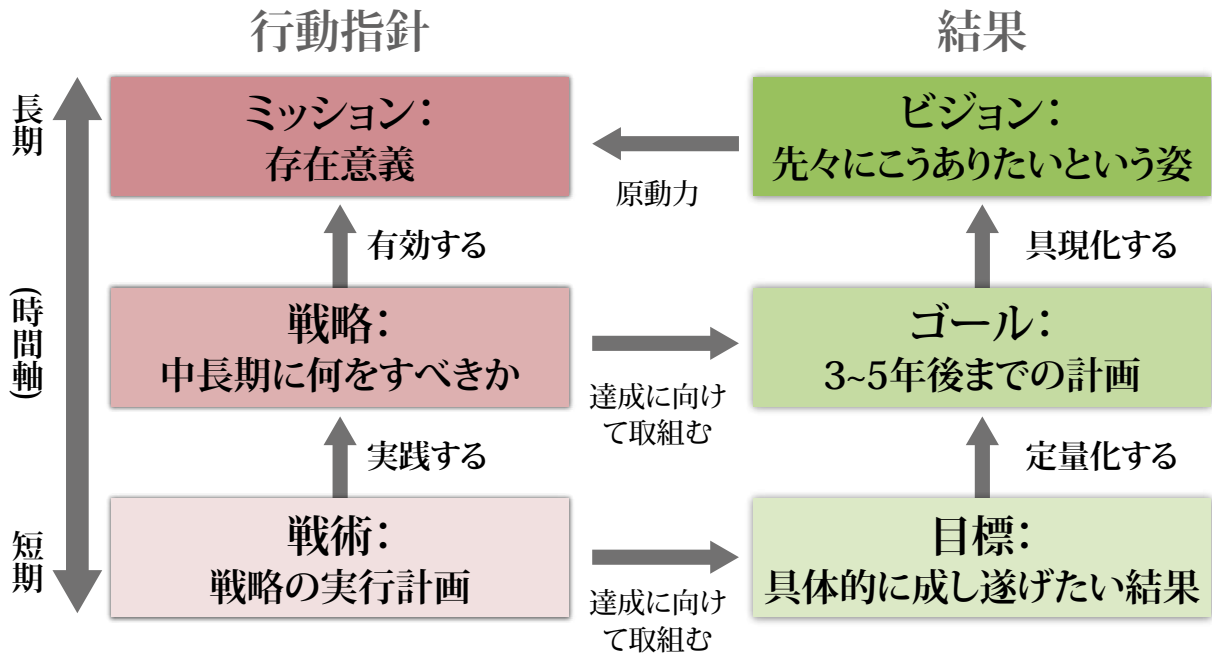
また、事例検証において、研究戦略と戦術とが混同が散見された。研究戦略の意義や位置づけに関する理解を高めた上で、グループ討議を行った方が、より一層効果的な講義になると感じた。

戦略の位置づけ

「戦略」とは「強み」を活かして戦うこと

「強み」とは自機関が有する、他機関にない特徴、価値

「強みを活かす」とは自らの特徴・価値を最大化する



目的と手段のペアリング

東京医科歯科大学の場合「特徴」「強み」とは

科研費の採択率

- 論文の被引用率
→ 外部機関からのマテリアルのリクエスト

ライセンス実績の上昇傾向

- ⇒ 特許権（出願手続中含）の活用率
実用化の医学系特有の困難性

一件あたりの共同研究の額

- ⇒ 共同研究件数

医学系大学

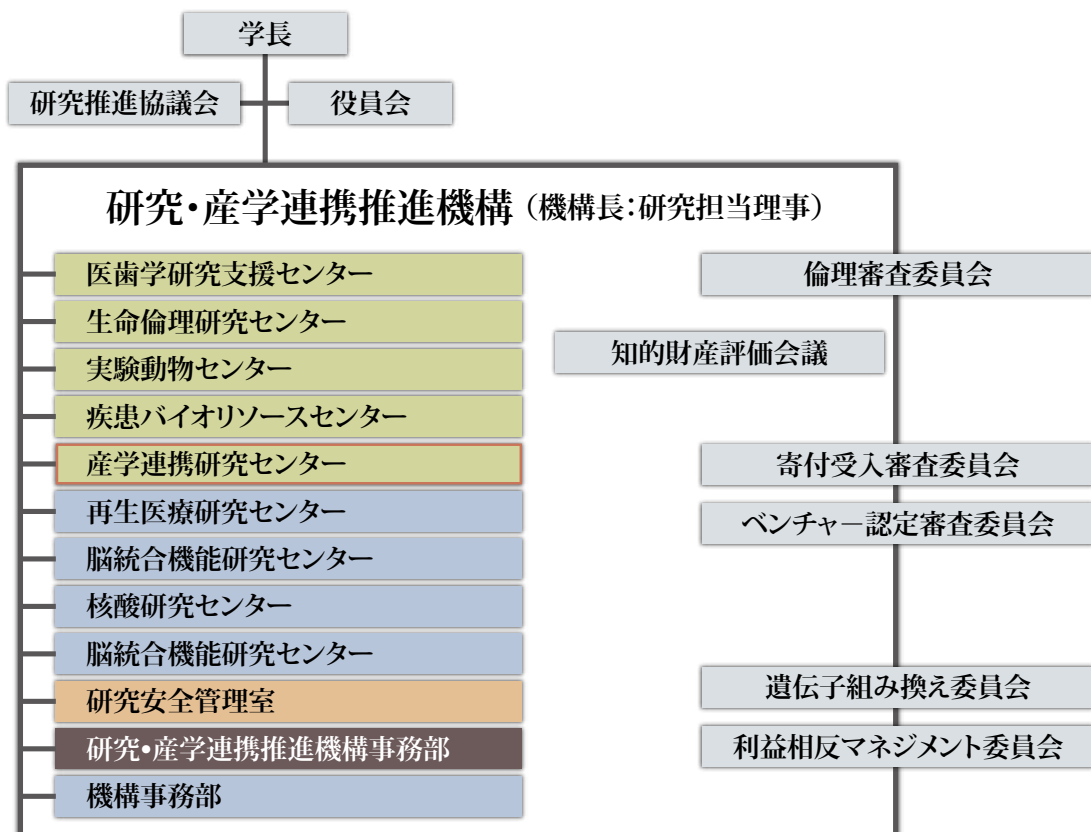
- ⇒ 医学系産学連携の特殊性や困難性
求められるガバナンス

研究・産学連携推進に向けた制度改革

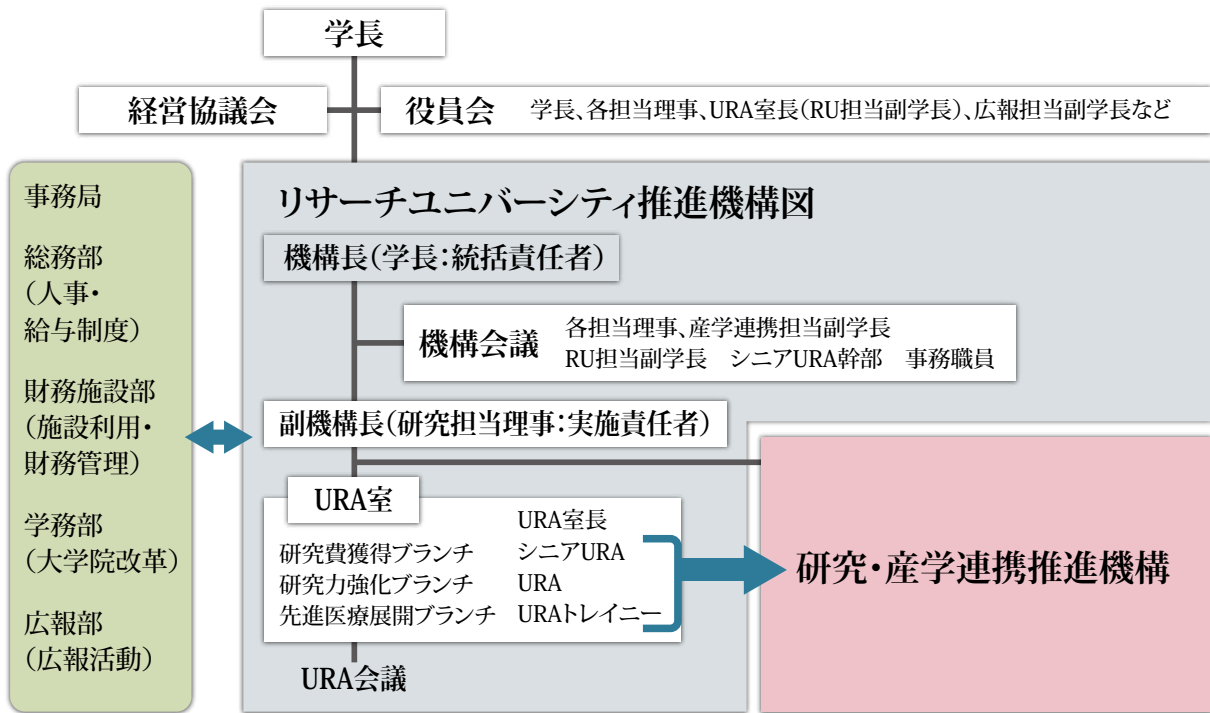
データ分析から見えてきた特徴（強み弱み）への対応

1 新たな治験センターの構築 ←信頼性高い臨床研究を実施できる体制	産学連携制度改革
2 ビジネス戦略会議の設置 ←出口を見据えた研究の増加	産学連携制度改革
3 URA 制度の導入・専門人材制度の構築 ←大型産学連携に対しては、専属の支援人材を配置	人事制度改革
4 インセンティブ給与制度の導入 ←大型の産学連携・有用な産学連携活動を誘因する	給与制度改革
5 特別大学院研究生制度の導入 ←産学連携支援人材の確保（人材育成）	教育改革
6 学術指導契約制度の新設 ←産学連携の機会を向上	産学連携制度改革
7 ガバナンス強化（医学系 COI マネジメント）	産学連携制度改革

TMDU 研究支援体制① 2011.4～



TMDU 研究支援体制② 2013.9 ~



医学系産学連携ネットワーク協議会 = medU-net

- 我が国全体の医学系産学連携機能の標準化・発展を目指す組織
- 2010年に発足(文科省補助事業:産学官連携自立化促進PG) 2013年自立的活動開始
- 各種リソースの共有と、産学官関係者の対話と連携を核に活動を展開中

